
慢性期看護論Ⅱ

辻	あさみ	教授
池田	敬子	准教授
上田	伊津代	講師
山口	昌子	講師
寒川	友起子	講師
阿部	雅	助教
川井	美緒	助教
矢竹	秀稔	非常勤講師

3 年次前期・必修

1 単位・30 時間

【概要・目標】

慢性的に経過する健康障害を有し、生涯にわたった生活のコントロールを必要とする成人期の人々をモデルとして、健康障害が生活環境と相互に影響しながら生じることを理解し、その障害のアセスメント方法やセルフマネジメントを推進する看護方法について学習する。また、疾病の認知と受容、ソーシャルサポート、QOL の向上につながる看護援助の方法について学習する。

1. 慢性的な健康障害をもつ人々の機能障害と生活との関連を理解する。
2. 慢性的な健康障害をもつ人々のセルフマネジメント支援に必要な知識・技術を習得する。
3. 慢性的な健康障害をもつ人々や家族の QOL を維持・向上させる看護の知識を習得する。

【授業内容のスケジュール】

- 1) ～ 9) 慢性的な健康障害をもつ人々への看護 (成人：辻、上田、山口、阿部、矢竹)
呼吸器疾患をもつ人々の看護
消化器疾患をもつ人々の看護
血液・造血器疾患をもつ人々の看護
放射線治療を受ける人への看護
がん化学療法を受ける人への看護
- 10) ～ 12) 慢性的な健康障害をもつ人々の看護過程の展開
(成人：辻、上田、山口、池田、阿部、川井 寒川)
- 13) ～ 15) 慢性的な健康障害をもつ人々の看護技術演習 (1～3)
(成人：辻、上田、山口、池田、阿部、川井、寒川)

【評価】

筆記試験 80%、演習 (事前・事後レポートを含む) 15%、授業への取り組み 5%

【教科書】

大西和子編集；成人看護学「成人看護学概論」	第 2 版	ヌーヴェルヒロカワ
鈴木志津枝編集；成人看護学「慢性期看護論」	第 3 版	ヌーヴェルヒロカワ
野崎真奈美編集；成人看護学「成人看護技術」	第 2 版	南江堂

【推薦参考図書】

講義の中で提示する。
